



日建連表彰2022



第3回土木賞

特別賞 浜松市沿岸域津波対策施設等整備事業 浜松防潮堤建設工事

受賞理由

本工事は、甚大な津波被害が想定される南海トラフ巨大地震に備え、天竜川河口から浜名湖までの浜松市沿岸域一七・五キロの区間にCSG (Cemented Sand and Gravel) を核とした防潮堤を整備したもので、一事業として構築したCSG防潮堤としては日本一の延長である。

事業費は、浜松市にゆかりのある篤志家からの寄付金をベースに市民募金も加わり、全額が寄付金で賄われた、まさに「地元による地元のためのプロジェクト」である点が大きな特徴である。

寄付金を原資とすることから最大限コスト縮減を考慮した効率性を重視し、防潮堤本体はCSGを核とする構造とした。CSG材としては、適切な強度が発現することを確

認のうえ、現地発生掘削土（海岸の砂）の有効活用を図った。

施工は、地元建設会社が担当する複数の工区をCM会社が統括マネジメントする形で実施。各工区が厳密な品質管理を実現するために、試験砂の一元管理を行うとともに、現地勉強会を開催して試験精度の標準化を図った。また、ダムで使用する大型重機ではなく、地元の保有する汎用性の高い重機・車両を用いた施工計画を立案した。ピーク時にCSG運搬だけでも延べ六〇〇台／日以上のダンプの運行に對して、CSG積込みから各現場での材料荷下ろしの工程について、ICTタグを活用したりリアルタイムモニタリングを実施し、効率的なダンプ運行管理を実現した。

防潮堤の完成によって、沿岸宅地への浸水面積は八割低減し、特に建物崩壊が危惧される二層以上の浸水面積は九八％低減する減災効果が得られた。

本工事は、地域住民・企業が一体となって地元のための防潮堤を築いたものであり、近隣自治体でも防潮堤建設に向けて寄付が盛り上がるなど、今後の地域防災の取組みに大きな影響を与えた事業であることが評価され、日建連表彰土木賞特別賞に値するものと認められた。

特別賞とは

選考の総合評価の結果によらず、施工プロセスを支えた活動や技術開発など、固有の課題に対する取組み、いわば施工プロセスにおいて「何かキラリと光る取組み」で特に優れた案件を特別賞として表彰することとしています。

浜松市沿岸域津波対策施設等整備事業 浜松防潮堤建設工事 概要

- 所在地 静岡県浜松市
- 施設管理者 静岡県
- 設計者 日本工営(株)
- 施工者 前田建設工業(株)、西松建設(株)、須山建設(株)、(株)中村組、中村建設(株)、(株)林工組、(株)鈴木組
- 関係者 浜松地区建設事業協同組合、浜松市、赤堀産業(株)、(株)泉組、(株)伊藤組、(株)植松鈴木組、小笠原マル昇(株)、(株)小松組、西遠建設(株)、常盤工業(株)、とやま建材(株)、(株)浜建、藤野建設(株)、(株)水野組、山平建設(株)
- 着工日 2013年7月2日
- 竣工日 2020年5月7日



詳細や他の写真などは左記の二次元コードからWebページにアクセスしてご覧ください。

《日建連表彰2022 第3回土木賞受賞プロジェクト・構造物》 一般国道40号音威子府村音中トンネル工事 / 千本ダム耐震補強改修プロジェクト / 相鉄東急直通線新橋浜駅地下鉄交差部土木工事 / 高尾川地下河川整備事業 / 東京臨海臨港道路南北線沈埋函(4号函・5号函・6号函)製作・架設等工事 / 東京メトロ銀座線渋谷駅移設工事 / 東北自動車道十和田管内高速道路リニューアル工事 / 発電所水圧鉄管路のTBMによる斜坑掘削プロジェクト(神流川発電所) / 阪神高速12号守口線床版更新工事 / 山須原発電所ダム通砂対策工事 / 【特別賞】史跡鳥取城跡擬宝珠橋復元工事 / 【特別賞】浜松市沿岸域津波対策施設等整備事業 浜松防潮堤建設工事

土木賞

土木賞は、募集の前年末までに概ね竣工した土木分野のプロジェクト・構造物を対象に、事業企画、計画・設計、施工、及び維持管理などに関する総合評価により選考を行います。選考に当たり、特に、施工プロセスの視点(施工プロセスの改善、良質な社会資本の効率的創出、土木技術の発展・伝承など)を重視しています。